本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

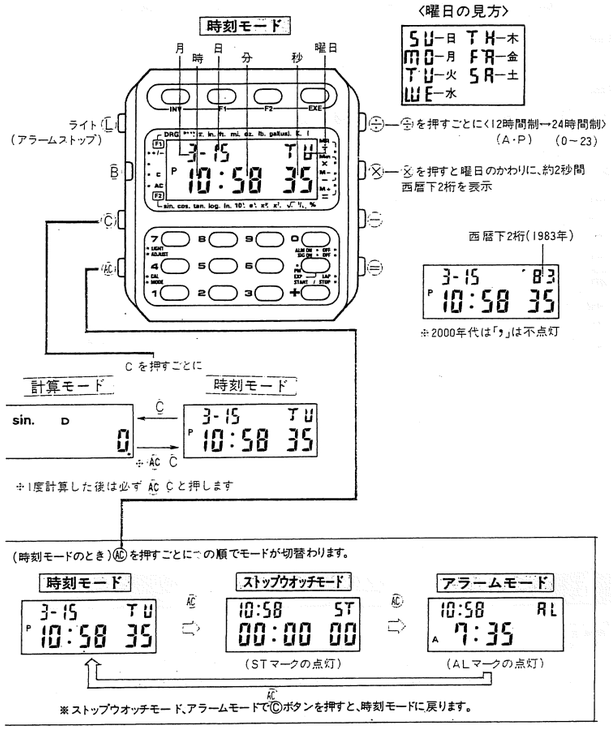
記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

25関数計算・12単位換算機能・メモリー計算
アラーム・1/100秒ストップウオッチ

FXカリキュレータ 197

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。
なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。
※製品のボタンは指先で操作してください。ボールペンなどの先のとがった器具で押すとボタンに不具合を与えることがあります。

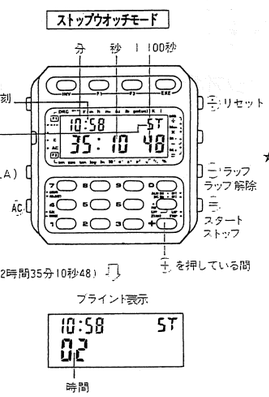
モードの切替え方……各ボタンを押してお試しください。



詳しくは各モードの項目をご覧ください。

ストップウオッチの使い方……「モード切替え」にしたがって、Ⓐを押しストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で、23時間59分59秒まで計測(24時間計)できます。通常は分・秒・1/100秒を表示しますが、「時間」を見るには㊉を押します。
(ブラインド表示)



・計測のしかた……㊁、㊀、㊉を押すごとに操作確認音が鳴ります。

●通常の計測
㊁ ⟹ ㊀ ⟹ ㊉
スタート ストップ リセット

※積算計測……ロスタイムがある場合にはストップ後リセットせずに、再スタートさせます。

●ラップタイム(途中経過時間)の計測
㊁ ⟹ ㊀ ⟹ ㊀ ⟹ ㊁ ⟹ ㊉
スタート ラップ計測 ラップ解除 ストップ リセット

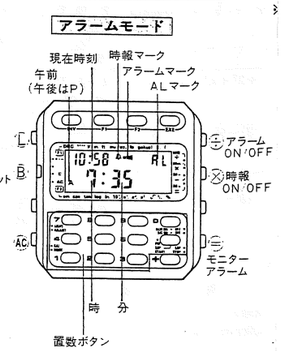
●1・2着のタイム計測
㊁ ⟹ ㊀ ⟹ ㊁ ⟹ ㊀ ⟹ ㊉
スタート 1着がゴール 2着がゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

※計測中でも㊉を押すとリセットされますのでご注意ください。

・経過時間報知機能
ストップウオッチモードで計測中は経過時間が10分単位(10分、20分……)ごとに電子ブザーが"ピッ"と鳴ります。

アラームの使い方……「モード切替え」にしたがって、Ⓐを押してアラームモードにします。

アラーム機能には時刻アラームと時報があります。
時刻アラームは分単位で任意の時刻をセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーが鳴ります。
時報は毎正時(00分のとき)に"ピッピッ"と電子ブザーが鳴ります。



●セットのしかた
(1)アラームモードのときⒷを押すと表示全体が点滅します。
(2)セットする時刻(時・分)を置数し、Ⓑを押します。
〔例〕午後8時5分にセットする。

操作	表示
Ⓐを押してアラームモードにする	10:58 RL / A 7:35
Ⓑを押す	10:58 RL / 7:35
時刻置数 805	10:58 RL / 805
午後指定(午後の場合のみ)PM○	10:58 RL / P 805
セット Ⓑを押す	10:58 RL / P 8:05

※置数をまちがえたときはⒶを押して正しく置数しなおします。
※時計モードを24時間制表示にしているときは、アラーム時刻のセットも24時間制でおこないます。

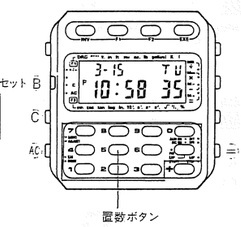
●アラームのON/OFF
㊉を押すごとにアラームマーク「🔔」がついたり、消えたりします。アラームを鳴らさないときはアラームマークを消しておきます。
●時報のON/OFF
Ⓧを押すごとに時報マーク「🔔」がついたり、消えたりします。時報を鳴らさないときは時報マークを消しておきます。
●鳴っている電子ブザーを止めるには㊊を押します。

時刻・カレンダーの合わせ方……「モード切替え」にしたがって、ⒶまたはⒸを押し時計モードにします。

★秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正
(1)時計モードのとき、Ⓑを押すと表示全体が点滅します。
(2)時報に合わせて㊀を押すと00秒からスタートします。

秒が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



★「時」「分」の合わせ方
(1)時計モードのときⒷを押すと表示全体が点滅します。
(2)合わせたい時刻(時・分)を置数し、時報に合わせてⒷを押せば正確な時刻に合わせられます。
〔例〕午後10時6分に合わせる。

操作	表示
ⒶまたはⒸを押して時計モードにする	3-15 TU / P 10:58 35
Ⓑを押す	3-15 TU / 10:58 35
時刻置数 1006	A 1006
午後指定(午後の場合のみ)PM○	P 1006
スタート(時報に合わせて)Ⓑを押す	3-15 TU / P 10:06 00

※置数をまちがえたときはⒶを押して正しく置数しなおします。
※修正前に24時間制表示にしていたときは、置数も24時間制でおこないます。
※「時」が1桁の場合、置数は3桁になります。例:「3時25分」→「325」

★カレンダーの合わせ方……月末およびうるう年を自動判別するフルオートカレンダーですので一度セットすれば電池交換時以外は修正する必要はありません。
(1)時計モードのときⒷを押すと表示全体が点滅します。
(2)合わせたい年・月・日を置数し、Ⓑを押します。曜日は自動的にセットされます。
〔例〕1983年7月14日をセットする。

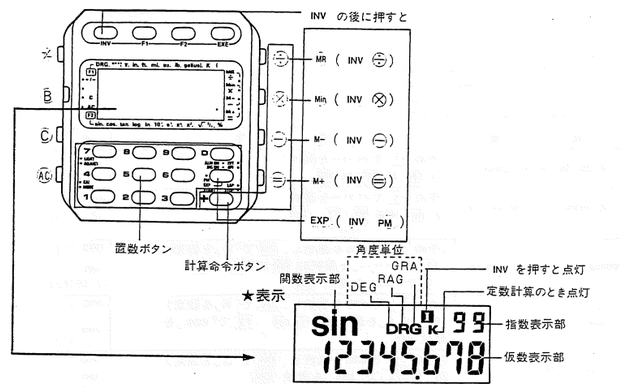
操作	表示
ⒶまたはⒸを押して時計モードにする	3-15 TU / P 10:06 30
Ⓑを押す	3-15 TU / P 10:06 33
年・月・日 置数19830714	19830714
セット Ⓑを押す	7-14 TH / P 10:06 01 (約2秒、西暦下2桁を表示した後、曜日を表示します)

※置数をまちがえたときはⒶを押して正しく置数しなおします。
※1981年1月1日～2099年12月31日までセットできます。

計算機能の使い方……Ⓒを押し、計算モードにします。

※置数および命令ボタンの操作確認音がついています。この確認音はⒷを押すごとにON(ピッ)/OFFになりますので、必要に応じて使いわけてください。ONにしておくとキー操作の確認音が出ます。(㊗(Ⓛ)を除く)

★キーの名称

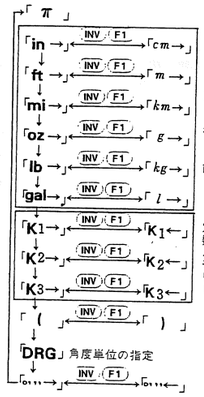


Ⓐ	オールクリヤーボタン	独立メモリーと定数メモリーを残し、他のすべてをクリヤーするとき押します。
Ⓒ	クリヤーボタン	押しまちがえた数値の訂正および混合計算中の関数の答やカッコ計算中のカッコ内の答を消したいときそれぞれの直後に押します。今までの計算を残し、表示数値のみが消えます。
1～9 0 PM	置数・小数点ボタン	置数のとき数の上桁より順に押します。㎩は小数点の位置で押します。
㊉㊀Ⓧ㊂㊁	計算命令ボタン	加減乗除の四則計算をするとき算式通りにそれぞれの位置で押します。㊁を押すと最終の答が求められます。なお、㊉㊀Ⓧ㊂を続けて2回押すと「K」を表示し、定数計算を行なう命令になります。(INV)に続いて押すとメモリー機能となります。(INV)Ⓧ⟶㏋ (INV)㊁⟶M- (INV)㊀⟶M+ (INV)㊉⟶㏌ 独立メモリーを参照

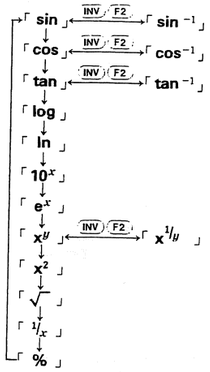
●計算をはじめる前に
本機は仮数8桁、指数2桁で25の関数機能と「完全数式通り」プラス最大12重のカッコ機能を備えています。また12の単位換算機能も備えています。
★Ⓐを押し、表示が「0.」であることを確認してから計算をはじめてください。
★計算は常に表示を確認しながら、確実にキーを押してください。
★訂正について
●置数ミスを計算命令キーを押す前に気づいたときはⒸを押し、正しく置数し直します。
●㊉㊀Ⓧ㊂の押しまちがいは続けて正しい命令キーを押すことにより訂正されます。ただし計算の優先順は訂正されません。
★桁オーバーと計算エラーについて
計算範囲をこえて使用すると仮数部最下位桁に"E"あるいは"⊏"を表示し、以後の計算ができなくなります。
1)計算途中、答あるいはメモリーの内容が±(9.9999999×10^99)をこえたとき
2)関数計算などにおいて入力範囲外の計算をしたとき(度は除く)
3)6㊂0㊁(㊉㊀Ⓧ㊂)など適当でない計算をしたとき
以上の場合最下位桁に"E"が表示されます。このときはⒶを押して初めからやり直します。
※メモリーを使用した場合はⒶ (INV) ㏌と押し、計算しなおします。
4)カッコのレベル数と加減乗除(x^y $x^{1/y}$を含む)のレベル数が合わせて5以上になったり、開カッコを13回以上続けて押したとき
この場合最下位桁に"⊏"を表示します。Ⓒを押すとエラー直前の数値が表示され、レベルオーバーにならない範囲で計算を続けることができます。
またⒶを押すとすべてクリヤーされます。
●答の絶対値が(1×10^{-99})未満のときはすべて"0"になります。

★関数表示部について
(F1)または(F2)を押すごとに関数表示部が変わります。
(EXE)を押すことによりここに表示されている命令が実行されます。

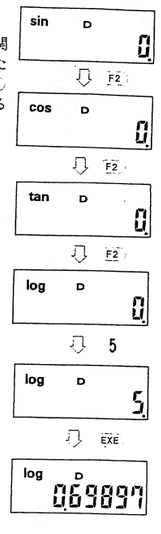
(F1)を押すごとに関数表示部が以下の様に変わります。
※押し続けると早送りができます
主に換算機能、定数メモリーが内蔵されています。また、その位置で(INV)(F1)と押すとその表示に対応する表示になるものがあります。



(F2)を押すごとに関数表示部が以下の様に変わります。
※押し続けると早送りができます
主に三角関数、指数・対数関数が内蔵されています。また三角関数と「x^y」では(INV)(F2)と押すとその表示に対応する表示に変わります。



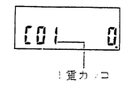
例)log 5 は?



■加減乗除
●加・減・乗・除の四則計算は数式通りにキーを押します。
(計算の優先順位を自動判別します)
●サインチェンジ
表示数値を「正→負」または「負→正」に変えたいときは㊂を押します。
また(INV)(EXP)後に押すと指数の符号を変換できます。
●指数部置数
指数を置数するときは仮数の置数後に(INV)(EXP)と押した後おこないます。
例 2.56×10^{-34} ⟶ 2 (PM) 56 (INV) (EXP) 34 ㊂
※答が10^{99}以上および10^{-2}(0.01)未満のときは自動的に指数表示になります。
●パイ
円周率(π)を置数したいときは(F1)で「π」を選択し(EXE)を押します。

例題	操作	表示
23+4.5−53=−25.5	23㊉4 (PM) 5㊀53㊁	−25.5
1+2−3×4÷5+6=6.6	1㊉2㊀3Ⓧ4㊉5㊉6㊁	6.6
56×(−12)÷(−2.5)=268.8	56Ⓧ12㊂㊉2. (PM) 5㊂㊁	268.8
12369×7532×74103 =6.9036806×10^12	12369Ⓧ7532Ⓧ74103㊁	12 6.9036806
1.23÷90÷45.6 =2.997076×10^−4	1 (PM) 23㊉90㊉45 (PM) 6㊁	−04 2.997076
(4.5×10^75)×(−2.3×10^−78) =−0.01035	4 (PM) 5 (INV) (EXP) 75Ⓧ2 (PM) 3 ㊂ (INV) (EXP) 78㊂㊁	−0.01035
半径4cmの円の面積を求める π×4²=50.265482	(F1)により「π」を選択 (EXE) Ⓧ4 (F2)により「x²」を選択 (EXE) ㊁	x² 50.265482

■カッコ計算
●カッコの方法 〈開カッコ〉
(F1)を押して関数表示部に「(」を表示させ、(EXE)を押すと開カッコとなります。
〈閉カッコ〉
(F1)を押して関数表示部に「(」を表示させ、(INV)(F1)で「)」となり、(EXE)で閉カッコとなります。



例題	操作	表示
100−(2+3)×4=80	100㊀(F1)により「(」を選択 (EXE) 2㊉3 (INV) (F1)で「)」を選択 (EXE) Ⓧ4㊁	) 80.
2×(3+4)÷5=2.8 ※操作において「(」の直前の「×」をはぶくことはできません	2Ⓧ (F1)で「(」を選択 (EXE) 3㊉4 (INV) (F1)で「)」を選択 (EXE) ㊉5㊁	) 2.8
2/3×{(8/10−3/5)×2/7+5} =3.3714286 ※式の最初の開きカッコと「(−」の直前の開きカッコは省略することができます。	2㊉3Ⓧ (F1)で「(」を選択 (EXE) (EXE) 8㊉10 ㊀3㊉5 (INV) (F1)で「)」を選択 (EXE) Ⓧ2㊉7㊉5 (EXE) ㊁	) 3.3714286
2.23+3÷(1+5/7)=3.98	2 (PM) 23㊉3㊉ (F1)で「(」を選択し (EXE) ※1㊉5Ⓧ7 (F2)で「1/x」を選択 (EXE) (F1)で「(」を表示させ、(INV) (F1)で「)」を選択 (EXE) ㊁ 省略可 ※この操作は1㊉5㊉7 (INV) (F1) (EXE) としても同じです。	) 3.98

定数計算

置数のあとに⊕⊖⊗⊜を2度続けて(偶数回)押すとその数が定数としてセットされ(Kを表示)、同じ数を足したり、引いたり、掛けたり、割ったりする計算が簡単にできます。※奇数回押すと定数はリセットされます。
※引き算、割り算では「引かれる数」「割られる数」の定数セットはできません。

例　題	操　作	表　示
12 ＋23=35 45 ＋23=68 (−78) ＋23=−55	23⊕⊕12⊜ 45⊜ 78 ⅏ ⊜	K 35 K 68 K −55
7−5.6=1.4 2.9−5.6=−2.7 (8.5×10³)−5.6 =8494.4	5 PM 6⊖⊖ 7⊜ 2 PM 9⊜ 8 PM 5 INV EXP 3⊜	K 1.4 K −2.7 K 8494.4
2.3×12=27.6 −4.56×12=−54.72 5/8 ×12=7.5	12⊗⊗ 2 PM 3⊜ 4 PM 56⅏⊜ F1 で「(」を選択 EXE 5⊜8 INV F1 で「)」を選択 EXE ⊜ ※途中で+、−、×、÷を押すと定数はリセットされるため、カッコを使います	K 27.6 K −54.72 K 7.5
78÷9.6=8.125 −45÷9.6=−4.6875 (1.2×10¹⁵)÷9.6=1.25×10¹⁴	9 PM 6⊖⊖ 78⊜ 45⅏⊜ 1 PM 2 INV EXP 15⊜	K 8.125 K −4.6875 K 14 1.25
3×6×9=162 3×6×8=144 3×6×(5+6)=198	3⊗6⊗⊗ 9⊜ 8⊜ F1 で「(」を選択 EXE 5⊜6 INV F1 で「)」を選択 EXE ⊜ 省略可	K 162 K 144 K 198
|(π³)²|²=924269.18	F1 で「π」を選択 EXE ⊗⊗ ⊜(π²)(π³) ⊗⊜(π³)² ⊗⊜|(π³)²|²	K 31.006277 961.38919 924269.18

メモリー計算

本機には M+ M− MR MC を使用する《独立メモリー》と「K₁」「K₂」「K₃」を使用する《定数メモリー》があります。

- 独立メモリー〜メモリー内に直接加減することができ、個々の答を求めながら、同時に合計を求める合計計算に便利です。

INV M+ でメモリーに最初の数値を覚えさせる
INV M− でメモリーに最初の数値を覚えさせる
INV M+ でメモリーに加算させる
INV M− でメモリーに減算させる
（前に入っていた数値が消え、新たな数値が入りますので、あらかじめメモリー内をクリアする必要はありません）
M+ M− は⊜の鍵も兼ねそなえています
INV MR でメモリーの内容が呼び出される

例　題	操　作	表　示
23＋ 9 =32 45× 2 =90 −) 99÷ 3 =33 89	23⊕9⊜ INV MC 45⊗2 INV M+ 99⊜3 INV M− INV MR	32 90 33 89
45×6 =270 −) 12×6 =72 78×6 =468 666	6⊗⊗45⊜ INV MC 12 INV M− 78 INV M+ INV MR	K 270 K 72 K 468 K 666
7+7+7+2×3+2×3 +2×3−2×3=33	7 INV MC INV M+ INV M+ 2⊗3 INV M+ INV M+ INV M+ INV M− INV MR	33
12×(2/3+3/4)−5=12 30×(2/3+3/4+4/5)−15×4/5 =54.5	12⊗ F1 で「(」を選択 EXE 2⊜3⊕ 3⊜4 INV F1 で「)」を選択 EXE INV MC ⊖5⊜ 続けて 30⊗ INV F1 で「(」を選択 EXE INV MR ⊕ EXE 4⊜5 INV F1 で「)」を選択 EXE INV MC EXE ⊖15⊗ INV MR ⊜	) 12) 54.5

- 定数メモリー〜定数やデータ、答などの数値を保管します。
新たな数値を入れると前にメモリーした数値は消えます。
（メモリー内に加減することはできません）

〈定数を記憶させるとき〉
F1 を押して関数表示部に「K₁→」か「K₂→」か「K₃→」を表示させ、INV F1 と押すと「K₁←」「K₂←」「K₃←」に変わります。
置数し、EXE でそのメモリー内に表示数値が記憶されます。

〈定数を呼び出すとき〉
F1 を押して関数表示部に「K₁→」「K₂→」か「K₃→」を表示させ、EXE を押すとそのメモリー内容が呼び出されます。

例　題	操　作	表　示
193.2÷23=8.4	※193.2を「K₁」に記憶させる 193 PM 2 F1 により「K₁→」を選択 INV F1 EXE ⊕23⊜ K₁←	K₁— 8.4
193.2÷28=6.9	INV F1 EXE ⊕28⊜ K₁→	K₁— 6.9
(−193.2)÷42=−4.6	EXE ⅏ ⊕42⊜ K₁→	K₁— −4.6
〈通貨換算使用例〉 1ドル=253円とすると	253 F1 で「K₂→」を選択 INV F1 EXE で253を「K₂」にメモリー K₂←	K₂→ 253 K₂— 253
「ドル→円」 ●25ドルは何円か？ (6,325円) 「円→ドル」 ●9,800円は何ドルか？ (約39ドル)	(予め F1 で「K₂→」を選択) 「K₂←」のときは INV F1 と押して「K₂→」にする EXE ⊗ 25 ⊜ 9,800÷ EXE ⊜	K₂→ K₂— 6325 38.735178

三角関数(sin cos tan) 逆三角関数($\sin^{-1}$ $\cos^{-1}$ $\tan^{-1}$)

- 度・分・秒
度・分・秒(時・分・秒)のような60進数を置数するときは F1 で「°′″ →」を表示させ EXE を押します。
例 78°45′12″ ⟶ 78 F1 で「°′″ →」を選択 EXE 45 EXE 12 EXE
10進数の度や時間を度・分・秒(時・分・秒)で表示させたいときは F1 で「°′″ →」を選択、INV F1 で「°′″ ←」にし、EXE を押します。
- 「DEG」「RAD」「GRA」の指定方法
※三角関数、逆三角関数で使用する〈角度の単位〉を指定します。
1) F1 を押して関数表示部に「DRG」を表示させる
2) EXE を押すごとに「D」→「R」→「G」と変わります
↑
角度単位が"度"のときは「D」、"ラジアン"のときは「R」、"グラジアン"のときは「G」を表示させます。(参考 90度=$\frac{\pi}{2}$ラジアン=100グラジアン)
- 逆三角関数にセットする方法
例) $\sin^{-1}$
1) F2 を押して関数表示部に「sin」を表示させます。
2) INV F2 と押すと「$\sin^{-1}$」に変わります。
※もう1度 INV F2 と押すと「sin」に戻ります。
※「$\cos^{-1}$」「$\tan^{-1}$」も同様の操作でセットできます。

例　題	操　作	表　示
14°25′36″=14.426667°	(予め F1 で°′″→を選択) 14 EXE 25 EXE 36 EXE	°′″→ 14.426667
12.3456°=12°20′44.16″	(予め F1 で°′″→を選択) 12 PM 3456 INV F1 EXE °′″←	°′″← 12°20′44.
sin63°52′41″=0.897859	(予め F1 で DRG を選択し、EXE で「D」を設定) F1 で「°′″→」を選択 63 EXE 52 EXE 41 EXE F2 で「sin」を選択 EXE	DRG ▷ 0 sin ▷ 0.897859
cos(π/3 rad)=0.5	(予め F1 で DRG を選択し、EXE で「R」を設定) F1 で「π」を選択 EXE ⊖3⊜ F2 で「cos」を選択 EXE	DRG ▷ R cos ▷ 0 0.5
tan(−35gra) =−0.6128007	(予め F1 で DRG を選択し、EXE で「G」を設定) 35 ⅏ F2 で「tan」を選択 EXE	DRG ▷ G tan ▷ 0 −0.6128007
2 sin45°×cos65° =0.5976724	(予め F1 で DRG を選択し、EXE で「D」を設定) 2⊗45 F2 で「sin」を選択 EXE ⊗65 F2 で「cos」を選択 EXE ⊜	DRG ▷ D cos ▷ 0 0.5976724
tan⁻¹0.741 =36.538446° =36°32′18″	(予め F1 で DRG を選択し、EXE で「D」を設定) PM 741 F2 で「tan」を選択 INV F2 EXE F1 で「°′″→」を選択 INV F1 EXE	tan⁻¹ ▷ 36.538446 °′″← ▷ 36°32′18
$\cos^{-1}\frac{\sqrt{2}}{2}$=0.785398 rad =0.25π rad	(予め F1 で「DRG」を選択し EXE で「R」を設定) 2 F2 で「√」を選択 EXE ⊕2⊜ F2 で「cos」を選択し、INV F2 EXE (続けて) ⊜ F1 で「π」を選択 EXE ⊜	cos⁻¹ R 0.785398 π R 0.25
2.5×(sin⁻¹0.8−cos⁻¹0.9) =68°13′13″	(予め F1 で「DRG」を選択し EXE で「D」を設定) 2 PM 5⊗ F1 で「(」を選択 EXE PM 8 F2 で「sin」を選択 INV F2 で「$\sin^{-1}$」を選択 EXE ⊖ PM 9 F2 で「cos」を選択 INV F2 で「$\cos^{-1}$」を選択 EXE F1 で「(」を選択 INV F1 で「)」を選択 EXE ⊜ F1 で「°′″→」を選択し、INV F1 で「°′″←」を選択 EXE	) 68.220424 °′″← 68°13′13

対数関数(log ln) 指数関数(10^x e^x x^y)

例　題	操　作	表　示
log1.23(=$\log_{10}$1.23) =0.0899051	1 PM 23 F2 で「log」を選択 EXE	log 0.0899051
ln90(=log$_e$90) =4.4998097	90 F2 で「ln」を選択 EXE	ln 4.4998097
log x =1.23の方程式を解く (常用対数1.23の真数は？) x=10^1.23=16.982437	1 PM 23 F2 で「10^x」を選択 EXE	10^x 16.982437
lnx=4.5の方程式を解く (自然対数4.5の真数は？) x=e^4.5=90.017131	4 PM 5 F2 で「e^x」を選択 EXE	e^x 90.017131
log456÷ln 456=0.4342944 ($\log_M/\ln$ 比=定数M)	456 INV MR F2 で「log」を選択 EXE ⊕ INV MR F2 で「ln」を選択 EXE ⊜	ln 0.4342944
5.6^2.3=52.581438	5 PM 6 F2 で「x^y」を選択 EXE 2 PM 3⊜	x^y 52.581438
$123^{\frac{1}{7}}$ ($\sqrt[7]{123}$)=1.9886478	123 F2 で「x^y」を選択し INV F2 で「$x^{1/y}$」を選択 EXE 7⊜	$x^{1/y}$ 1.9886478
$4^{2.5}$=32 $0.16^{2.5}$=0.01024 $9^{2.5}$=243 ※x^yおよび$x^{\frac{1}{y}}$は+、−、×、÷と同様な定数計算ができます。	2 PM 5 F2 で「x^y」を選択 EXE EXE 4⊜ PM 16⊜ 9⊜	x^y R 32 x^y R 0.01024 x^y R 243
(78−23)^−12 =1.3051118×10^−21	78⊖23 F1 で「(」を選択し、INV F1 で「)」を選択 EXE F2 で「x^y」を選択 EXE 12 ⅏ ⊜ ※前のカッコは省略可	x^y −21 1.3051118
$2+3\times64^{\frac{1}{3}}-4=10$ ※x^yおよび$x^{\frac{1}{y}}$は×、÷より優先されて計算されます。	2⊕3⊗64 F2 で「x^y」を選択し、INV F2 で「$x^{1/y}$」を選択 EXE 3⊖4⊜	$x^{1/y}$ 10
$10^4\times e^{-4}+1.2\times10^{2.3}$ =422.58787	1 INV EXP 4⊗4 ⅏ F2 で「e^x」を選択 EXE ⊕1 PM 2⊗2 PM 3 F2 で「10^x」を選択 EXE ⊜	10^x 422.58787
$10^{5.1}+9^{5.1}+e^{5.1}$ =199615.73	5 PM 1 F2 で「x^y」を選択 EXE EXE 10⊜ 定数 INV MC 9 INV M+ 1 F2 で「e^x」を選択 EXE メモリー INV M+ INV MR	e^x R 199615.73
2×3.4^(5+6÷7)=3306232	2⊗3 PM 4 F2 で「x^y」を選択 EXE F1 で「(」を選択 EXE 5⊕6 PM 7⊜ ※＝の直前のカッコは省略可	(3306232
log sin 40°+ log cos 35° =−0.2785679 その真数は……0.5265407	(予め F1 で「DRG」を選択 EXE で「D」を設定) 40 F2 で「sin」を選択 EXE F2 で「log」を選択 EXE ⊕ 35 F2 で「cos」を選択 EXE F2 で「log」を選択 EXE ⊜ 続けて F2 で「10^x」を選択 EXE	log ▷ −0.2785679 10^x ▷ 0.5265407

その他の関数(√、$^1/_x$、x^2)

例　題	操　作	表　示
√2 +√5 =3.6502815	2 F2 で「√」を選択 EXE ⊕5 EXE ⊜	√ 3.6502815
1/(1/3−1/4) =12	3 F2 で「$^1/_x$」を選択 EXE ⊖4 EXE ⊜ EXE	$^1/_x$ 12
2²+3²+4²+5²=54	2 F2 で「x^2」を選択 EXE ⊕3 EXE ⊕4 EXE ⊕5 EXE ⊜	x^2 54
√(13²−5²)+√(3²+4²) =17 ※このような操作になります √(13²−5²)+√(3²+4²)	13 F2 で「x^2」を選択 EXE ⊖5 EXE F1 で「(」を表示させ、INV F1 で「)」を選択 EXE F2 で「√」を選択 EXE ⊕ F1 で「(」を表示させ INV F1 で「)」を選択 EXE F2 で「√」を選択 EXE ⊜	√ 12 √ 17

パーセント計算

例　題	操　作	表　示
〈割合〉 1500ccの17%は？ 1500×17/100=255(cc)	1500⊗17 F2 で「%」を選択 EXE	% 255
〈割増〉 620gの15%増しは？ 620+620×15/100=713(g)	620⊗15 F2 で「%」を選択 EXE ⊕	% 713
〈割引き〉 7980円の25%引きの値段は？ 7980−7980×25/100 =5985(円)	7980⊗25 F2 で「%」を選択 EXE ⊖	% 5985
〈変化率〉 500gの試料に300gを加えると最初の何%となるか？ (300+500)/500×100=160(%)	300⊕500 F2 で「%」を選択 EXE	% 160

パーセント定数

例　題	操　作	表　示
1500g の15%は？ 225g 1500g の23%は？ 345g	1500⊗⊗15 F2 で「%」を選択 EXE 23 EXE	%K 225 %K 345
30g は192g の何%か？ 15.625% 12g は192g の何%か？ 6.25%	192⊕⊕30 F2 で「%」を選択 EXE 12 EXE	%K 15.625 %K 6.25
1200gに600gを加えると初めの何%増しか？ 1200gに510gを加えると初めの何%増しか？	1200⊕⊕600 F2 で「%」を選択 EXE 510 EXE	%K 150 %K 142.5
138gは150gの…… 8%ダウン 168gは150gの……12%アップ	150⊖⊖138 F2 で「%」を選択 EXE 168 EXE	%K −8 %K 12

換算機能

以下の単位をヤード・ポンド法からメートル法へ、またはメートル法からヤード・ポンド法に換算することができます。

換　算 (ヤード・ポンド法→メートル法)	関数 表示部	INV F1 と押すごとに	関数 表示部	換　算 (メートル法→ヤード・ポンド法)	
インチからセンチメートルへ	in →	INV F1	cm →	センチメートルからインチへ	長さ・距離
フィートからメートルへ	ft →	INV F1	m →	メートルからフィートへ	長さ・距離
マイルからキロメートルへ	mi →	INV F1	km →	キロメートルからマイルへ	長さ・距離
オンスからグラムへ	oz →	INV F1	g →	グラムからオンスへ	重量・容量
ポンドからキログラムへ	lb →	INV F1	kg →	キログラムからポンドへ	重量・容量
U.Sガロンからリットルへ	gal →	INV F1	l →	リットルからU.Sガロンへ	重量・容量

- 単位の換算はそれぞれのデータを入力し、F1 または INV F1 と押して関数表示部に換算単位を表示させ、EXE を押します。

例　題	操　作	表　示
3インチは何センチメートルか？ 7.62センチメートル	3 F1 で「in →」を選択 EXE	in → 7.62
0.5キログラムは何ポンドか？ 1.1022928ポンド	PM 5 F1 で「lb →」を表示させ、INV F1 で「kg →」を選択 EXE	kg → 1.1022928
8フィート5インチは何センチメートルか？ 256.54センチメートル	8 F1 で「ft →」を選択 EXE ⊗100 ⊕ 5 F1 で「in →」を選択 EXE ⊜	in → 256.54
1リットルあたり8.7キロメートル走る車で50ガロンで何マイル走ることができるか？	8 PM 7⊗50 F1 で「gal →」を選択 EXE ⊜ F1 で「mi →」を表示させ、INV F1 で「km →」を選択 EXE	km → 1023.2082

- 自動復帰機能
計算後何も操作しなかった場合、またはアラームや時刻のセットで表示を点滅させたままにした場合、数分後、自動的に時刻モードに戻ります。
- 他モードへの切替え
ストップウオッチを使用中に他のモードにしても計測には一切影響ありません。
ただしラップ計測時(LAPが点灯)にこの操作をするとラップは解除されます。
- 計算モードでの操作確認音ON/OFFは他のモードでも有効です。確認音を消しておくと、時刻合わせなどでも操作確認音は出ません。ただし、アラーム機能やストップウオッチ操作確認音には影響ありません。
- モニターアラーム
アラームモードで⊜を押し続けると電子ブザーが鳴ります。

ご使用上の注意

温　度　直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。
また、寒い所に長く放置しないでください。
●湿れ・塵みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。また、+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防水性　●裏面にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているものは洗面や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水抜・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
【防水性能を保つために定期的(2〜3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。】
●裏面にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないものは防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。

ショック　通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

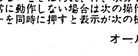
磁　気　磁気の影響はありません。

お手入れ　ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。

薬品類　●汚れたままですとサビたり、衣服の袖口を汚したり、皮よの弱い方はかぶれたりする場合があります。水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、染料、漂剤、化粧品類)が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保　管　長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

オールリセット　万一キー入力が正常に動作しない場合は次の操作を行なってください。
●⊗⊖⊕の3つのキーを同時に押すと表示が次の様になります。



オールリセット完了 ……

この操作を行なった上、説明にしたがって「時間」「カレンダー」「アラーム」をセットしてください。

電池交換について

最初の電池　工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消　耗　電池が消耗しますと「ライトが点灯しなくなったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」「時刻の狂いが目立ったりします。

電池交換　●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

関数の入力範囲と精度

●関数の精度は原則として8桁目±1の誤差となります。

sin cos tan	DEG : |x| < 1440° RAD : |x| < 8π GRA : |x| < 1600	8桁	仮数部 8桁目±1
$\sin^{-1}$ $\cos^{-1}$ $\tan^{-1}$	|x| ≦ 1 |x| < 10^{100}		
log ln	0< x < 10^{100}		
10^x e^x	|x| < 100 −227 ≦ x ≦ 230		
x^y $x^{1/y}$	x > 0, y = 整数または小数 x = 0, y ≒ 0の整数または小数 x < 0, y = 指数部が整数		
√ x^2 $^1/_x$	0≦ x < 10^{100} |x| < 10^{50} |x| < 10^{100}, x ≒ 0		
°′″→ °′″← ※	°′″ < 10^{100} |x| < 10^{96}		

※60進表示可能データ(max) ：±2777.7777以下

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温精密精度：平均月差±15秒以内
表示方式：時刻表示＝時・分・秒 午前/午後(12時間制表示のとき)
カレンダー表示＝月・日・曜日・年(年は西暦年の下2桁) フルオートカレンダー
計算機能
基本計算：負数・指数・カッコ(4レベル最大12重)を含む四則計算(加減、乗除の優先順位判別機能つき)、四則定数計算
関数計算：三角・逆三角関数(角度単位は度・ラジアン・グラジアン)、対数・指数関数・べき乗・べき根・開平・2乗・10進↔60進・π、割合・割増し・割引き・比率・変化率計算
メモリー：独立メモリー1組+データ定数用メモリー3組
表示および桁数：仮数部8桁、指数部2桁、60進数表示可(度・分・秒の合計桁数は6桁以内)
計算範囲：±1×10^−99〜±9.9999999×10^99
ストップウオッチ：計測単位＝1/100秒 計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
経過時間報知機能＝経過時間が10分ごとに電子ブザーで報知
アラーム機能：時刻アラーム セット単位＝1分 電子ブザー＝20秒間 時報 毎正時に電子ブザーで報知(ピ・ピ・ピ・)
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能、アラームセット機能
その他：12/24時間制表示切替 モニターアラーム
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：BR-2020 電池別途販売
電池寿命：約15ヵ月(1日当りライト1秒間点灯、電子ブザー20秒、計算機能を1時間使用のとき)